

# 東日本大震災12年目の被災地訪問

これまでの12年間に何度も被災地を訪問し、その都度、自分なりの研究課題を見出し、問題解決に向けて考えてきました。しかし、津波災害の問題は非常に難しく、未だにこれと云った名案を見つけることは出来ていません。

もちろん、危険な所に住まない、危険が迫ったら躊躇なく避難することが津波災害を軽減するための基本であることは間違いのないところですが、現実にはそう簡単ではありません。津波の襲来頻度が最も高い東北地方でなぜ、何度も津波災害が繰り返されるのか、被災地を歩きながら考えてみたいと思い、今回も釜石、気仙沼、双葉に焦点を当てて、2泊3日の旅をしてきました。

## 旅程

- 3月10日 横浜発、東京～一関(東北新幹線)、一関～花巻(東北本線)、花巻～釜石(釜石線)、釜石駅周辺の視察、釜石泊
- 3月11日 釜石～鶴住居(三陸鉄道リアス線)、鶴住居の視察、鶴住居～両石(徒歩)両石の視察、両石～盛(三陸鉄道リアス線)、盛～気仙沼(大船渡線BRT)、気仙沼の視察、気仙沼～一関(大船渡線)、一関～小牛田～仙台(東北本線)、仙台泊
- 3月12日 仙台～原ノ町(東北本線・常磐線)、南相馬(原ノ町駅周辺)の視察、原ノ町～双葉(常磐線)、双葉駅周辺の視察、双葉～いわき(常磐線)、いわき～品川(常磐線、特急ひたち)、横浜着

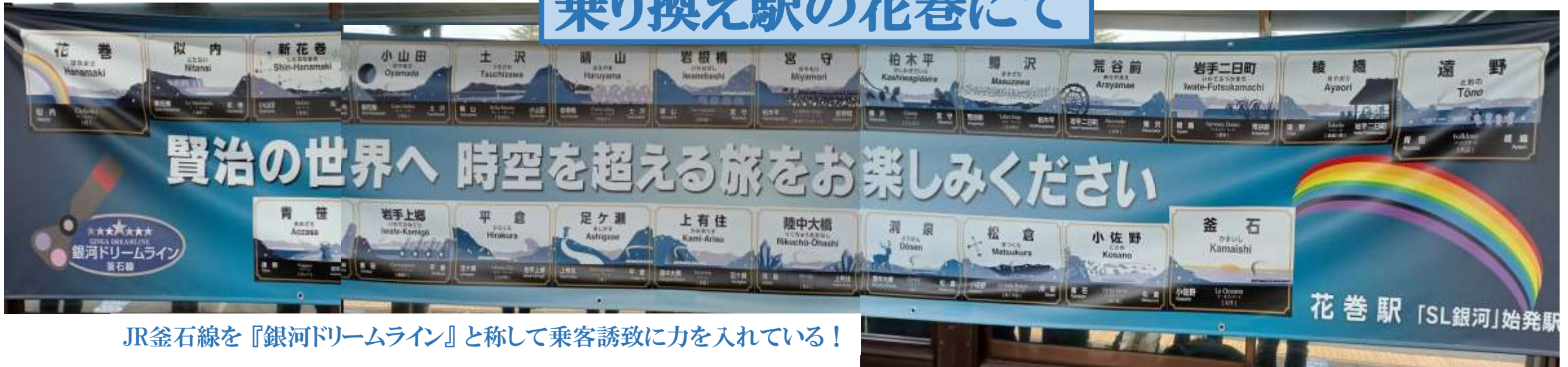
## 視察の目的

- 鶴住居：『釜石の奇跡』と『釜石の悲劇』の現地確認
- 両石：津波災害後の復興住宅の確認
- 気仙沼：港周辺の大規模な復興計画の確認
- 双葉：駅前の復興住宅の建設状況の確認と駅東側の現状確認





乗り換え駅の花巻にて



JR釜石線を『銀河ドリームライン』と称して乗客誘致に力を入れている！

# 釜石線全駅とエスペラント語の愛称 (このページは視察目的とは関係はありません！)

釜石線の全駅には駅名にエスペラント語による愛称がつけられています。宮沢賢治の『銀河鉄道之夜』でエスペラント語が多用されているためです。

駅名	所在地	エスペラント語による愛称
花巻 似内 新花巻 小山田 土沢 晴山	花巻市	Cielarko チェールアルコ(虹) La Marbordo ラ・マールボルド(海岸) Stelaro ステラーロ(星座) Luna Nokto ルーナ・ノクト(月夜) Brila Rivero ブリーラ・リヴェーロ(光る川) Cerizeriz-arboj チェリーズ・アルボイ(桜並木)
岩根橋 宮守 柏木平 鱒沢 荒谷前 岩手二日町 綾織 遠野 青笹 岩手上郷 平倉 足ヶ瀬	遠野市	Fervojponto フェルヴォイポント(鉄橋橋) Galaksia Kajo ガラクシーア・カーヨ(銀河のプラットホーム) Glanoj グラーノイ(どんぐり) Lakta Vojo ラクタ・ヴォーヨ(天の川) Akvorado アクヴォラード(水車) Farmista Domo ファルミスタ・ドーモ(農家) Teksililo テクシーロ(機織り機) Folkloro フォルクローロ(民話) Kapao カパーオ(カップ) Cervodanco ツェルヴォダンツォ(鹿踊り) Monta Dio モンタ・ディーオ(山の神) Montopasejo モントパセーヨ(峠)
上有住	気仙郡住田町	Kaverno カヴェルノ(洞窟)
陸中大橋 洞泉 松倉 小佐野 釜石	釜石市	Minajo ミナージョ(鉱石) Cervoj ツェルヴォイ(鹿) La Suda Kruco ラ・スーダ・クルーツォ(南十字星) Verda Vento ヴェルダ・ヴェント(緑の風) La Oceano ラ・オツェアーノ(大洋)



釜石駅の車庫



<http://gingadreamline.web.fc2.com/aisho.html> より



「くしの歯作戦」とは：  
 内陸部を南北に貫く東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」のように沿岸部に伸びる何本もの国道を啓開し、救命・救援ルートを確認することを「くしの歯作戦」と名付けた。

Operation Comb:  
 Named as such from the Tohoku Expressway and National Route No. 4 running north-south, including branch routes that extend to the coast "like a comb's teeth."  
 Its objective was to carve out rescue and emergency relief routes to the coast.



# JR釜石駅周辺

釜石は鉄と魚の町と言われ、最近ではラグビーがそれに加わる。終戦間際に米軍の艦砲射撃によって町も製鉄所も潰滅的被害を受けるが、その後のオリンピック景気もあって、製鉄を中心とする重工業で釜石は復興を遂げる。左の写真は昭和40年代の釜石駅前で、左上の写真と同じ場所であるらしい。

3.11の津波災害では再び潰滅的被害を受け、12年後の現在に至っている。駅前には数々のモニュメントがあり、その中には災害後に注目された『櫛の歯作戦』の説明図や津波避難場所案内も設置されていた。上の写真のシープラザ釜石には海産物中心の店舗が集まっている。



復興の鐘(左)と「ものづくりの灯を永遠に」の碑(右)

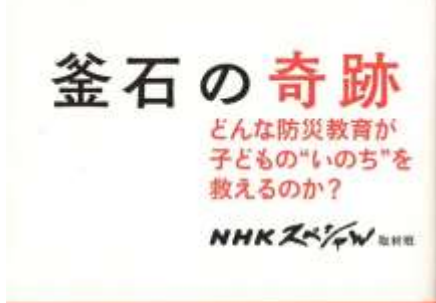
# 『釜石の奇跡』の鵜住居と両石



東日本大震災津波詳細地図(原口・岩松, 2011) に見る鵜住居と両石の津波浸水状況。



片田敏孝著『命を守る教育 3.11 釜石からの教訓』PHP, 2012.3.13.



NHKスペシャル取材班『釜石の奇跡』イースト・プレス, 2015.1.20.



津波後の鵜住居



津波で浸水した鵜住居小(手前)と釜石東中



3階に車が突き刺さった鵜住居小



児童・生徒の津波避難経路



小学生の手を引いて避難する中学生



介護施設から避難を開始する生徒たち

『釜石の奇跡』は鵜住居地区の海岸に近い釜石東中学校の生徒達が、隣接する鵜住居小学校の児童と共に、近隣の住民や幼稚園児も巻き込んで、津波からの避難行動に成功し、東日本大震災の中での美談としてよく知られている。これには当時群馬大学教授の片田敏孝氏の事前の防災教育が功を奏したとのであった。ここに転載させて頂いた写真は同氏の著書からのものである。しかしその一方で『釜石の悲劇』と呼ばれる事件が同じ鵜住居地区であったことはあまり知られていないのではないと思われる。



津波後の両石



多くの津波犠牲者を出した「鶴住居地区防災センター」跡地の慰霊碑



三陸鉄道リアス線, 鶴住居駅



復興スタジアムに近い鶴住居川の河口堰

# 釜石市鶴住居地区の現状



復興スタジアム内の石碑. 遠方の高台には移設された小・中学校



復興スタジアム内の津波避難経路図



鶴住居小学校・釜石東中学校の跡地に建設された「釜石鶴住居復興スタジアム」



避難場所(介護施設)までの案内指標



鶴住居駅周辺の復興住宅



3.11津波災害で子供たちが避難した介護施設(左)と45号線に面した石材店(右)

